

開催日 2018年2月17日(土)

学校公開の場を利用して1時間目～4時間目までの時間割で、「義肢装具ってなに？パラリンピックってなに？(講義)」・「義足ユーザーとの交流」と、「義肢装具体験」として指型採型・筋電義手体験・装具装着体験・骨格義足組立体験・義肢装具触知体験(展示)の5つのプログラムを、小学校5年生の児童とその保護者、教職員を対象に実施いたしました。

3クラスで総勢82名の児童達に、(公社)日本義肢装具士協会 障がい者/パラアスリート/P0啓もうWGと東日本支部から12名がスタッフとして対応しました。それぞれのプログラムについて解説いたします。

### 講義～義肢装具ってなに？～パラリンピックってなに？

「障がい者・パラアスリート」と、その方々を支援する義肢装具士の職業について、理解を深めてもらう事を目的に講義と義足ユーザーとの交流をしました。

対象が小学校5年生であることから、講義は児童が話しに飽きないよう、クイズ形式の質問やパラリンピアン動画を取り入れる工夫を施し、義足の説明には実物の競技用義足を用いました。



### 義足ユーザーとの交流

義足ユーザー交流では、義足歩行のパフォーマンスを実演したり、ユーザーの方々に質問してもらうことで、交流の深化をはかりました。

児童はとても興味深く聴講していて、講義内容やユーザーの方々への質疑応答も活発でした。



### 義肢装具体験

義肢装具体験プログラムでは、「指型採型」・「筋電義手体験」・「装具装着体験」・「骨格義足の組み立て体験」・「義肢・装具に触れる体験(展示)」の、5つのブースを設置しました。

児童には興味のあるコーナーを、45分の時間内に訪れて体験してもらう形式を取りました。グループや個人で各ブースで義肢装具を実際に体験して、初めて見る義肢装具に興味津々の様子でした。疑問に感じたことをスタッフに質問する風景は、各ブースで多々見受けられたことから体験プログラムは理解を深める方法であると感じました。

# 義肢装具体験の様子



筋電義手体験



義肢装具に触れる体験(展示)



高齢者疑似体験



骨格義足の組み立て体験



手指採型

指型採型では、児童の指を石膏モデルにして、後日渡してもらうよう教員に預けました。

## イベントを終えて. . .

イベント開催後に実施したアンケート結果では、全体の98%が体験イベントへの参加に満足しているとの回答を得ました。また、障害に対する理解は81%が、義肢装具についての理解は77%が深まったとのことでした。興味を引かれた体験プログラムについての回答は、指型採型・骨格義足の組み立て体験・筋電義手体験の順でありましたが、どのプログラムも興味度に偏りがないうことから、児童に興味を抱いてもらえるプログラムを多く提供できていることを示すものと思われます。

今回初めてとなる「オリ・パラ教育推進支援プログラム」を小学校で開催しましたが、感受性豊かな年頃に「障がい者・パラアスリート」、その方々を支援する義肢装具士の業務を伝える事は、「障がい者理解」や「ボランティアマインドの育成」に通じる非常に大切な教育支援事業であると考えます。

当協会WGでは、これからも積極的にオリンピック・パラリンピック教育推進プログラムに取り組んで参ります。

## アンケート（生徒の記述感想） ※一部抜粋

- ・ 義肢と装具の区別というのがあやふやだったが、このお話を聞いて楽しく学べました。
- ・ 義足の最終的な組み立てが出来て、とても楽しく勉強になりました。筋電義手体験ではコツを掴むまで難しかったです。
- ・ 指採型体験は親指を入れたときの感触が気持ち良かった。装具試着体験では色々な義肢・装具を実際に装着できて楽しかった。全部楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ 講演や義肢装具体験イベントを体験して学んだことは、障害がある人もこういう人たちのおかげで普段と変わらない生活をしているんだと思いました。自分も障害がある人で、困っているところを見つけたら助けてあげたいです。
- ・ 筋電義手体験の時は、なかなか感覚がうまく取れず難しかったです。装具試着体験はあまりバランス感覚が分からなくて、ずっと上を向いて歩いていたので大変でした。
- ・ 私の知らないところで、色々な人たちが努力をして誰かの役に立とうとしていること、義足や義手を使って誰かが助かっていることを知れました。
- ・ 義足をつけたパラリンピック選手が、オリンピック選手と同じくらい凄かったのにびっくりしました。。
- ・ 将来、義肢装具士さんみたいな人を助ける仕事がしたいです。
- ・ 義肢装具士は、障害者を助ける大切な存在なのだと分かりました。
- ・ 装具試着体験でお年寄りの人の感覚を体験してみて、こんなに体が自由に動かないとは思っていなかったなので、今度おじいちゃんやおばあちゃんが歩くときに手伝おうと思いました。
- ・ 筋電義手体験で、義手を持ってみたけどとても重かった。